

SPR News 98

January 2023



東京都内SPR工法施工現場

新年あいさつ

**SPR-SE工法用プロファイルがⅡ類資器材に登録
令和4年度安全大会を開催**



新年のあいさつ

日本 SPR 工法協会 会長

神山 守

新年あけましておめでとうございます。本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

新年を迎え、新型コロナウイルス感染症の日本上陸以来3年余りが経ちました。感染流行の波を繰り返す中で、社会全体が「with コロナ」にも徐々に順応してきており、以前の生活を取り戻すまであと一歩といったところです。

当協会においても、総会を以前のように対面で開催し、安全大会も3年ぶりに開催することができました。また、デモ施工のような従前の取組みが復活し、少しずつ元の活動が戻ってきていることを実感しています。コロナ禍において当協会では講習会のオンライン化を進めて参りましたが、今後はそうした新しい方法も取り入れつつ、品質の向上を意識した対面での研修

活動にも努めて参る所存です。

世界的な物価上昇やロシアのウクライナ侵攻、急激な円安相場等の影響により、会員の皆様にとっても先行きの不透明感が増してきている状況だとは思いますが、各地方公共団体ではストックマネジメントの取組みを進めており、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の促進と相まって、管更生の需要はますます高まっています。ユーザーの要望に対して安定的に高品質の製品を提供すべく施工技術のレベルアップを図り、同時に競争力の確保にも繋げていきたいと考えております。開発者と連携しながら更なる技術開発にも努めて参りますので、会員の皆様におかれましても、ご協力いただきますようお願い致します。



北海道支部長・渡邊 仁



東北支部長・伊東 正人



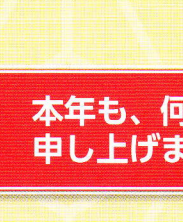
東京支部長・足立 裕介



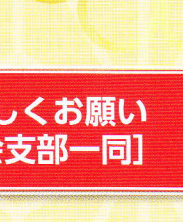
北関東支部長・徳山 良一



南関東支部長・小原 章裕



関西支部長・多田 和之



中・四国支部長・向井 政博



北陸支部長・小寺 弘邦



東海支部長・相澤 宏暢



関西支部長・多田 和之



中・四国支部長・向井 政博



九州支部長・松山 孝義

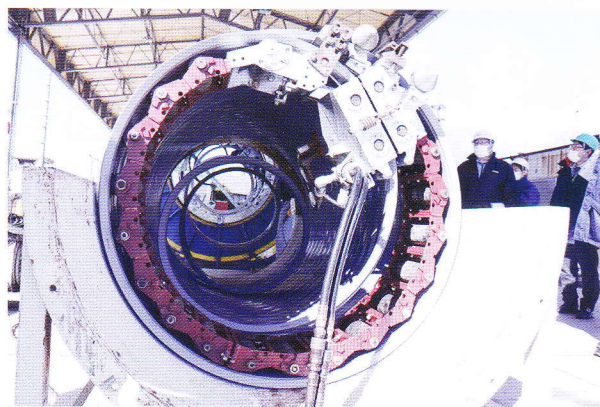
本年も、何卒よろしくお願い申し上げます[協会支部一同]

SPR-SE 工法用プロファイルが Ⅱ類認定適用資器材に登録

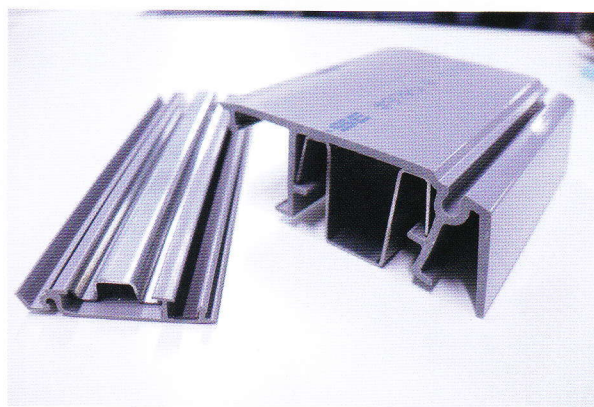
Ⅱ類認定適用資器材「下水道用硬質塩化ビニル製管更生材」に
「SPR-SE 工法用プロファイル」が 10 月 1 日付けで登録されました。
また、認定工場には積水化学工業(株)の滋賀栗東工場が認定されています。

Ⅱ類認定適用資器材「下水道用硬質塩化ビニル製管更生材」については、平成 18 年に SPR 工法用プロファイルが登録されて以後、製管工法用更生材で 3 資器材、自立管形成工法用更生材で 2 資器材の登録があり、うち自立管形成工法用更生材については令和 2 年にⅠ類規格化（JSWAS K-19）されていました。呼び幅が異なる専用プロファイル 6 種類（53 ～ 97mm）を登録範囲としています。

自立管製管工法については、（公財）日本下水道新技術機構が東京都下水道サービス(株)、積水化学工業(株)、足立建設工業(株)との共同研究による「自立管製管工法（ら旋巻管）に関する技術資料」が発刊され、要求性能や構造計算手法が確立されています。同技術資料に準拠するものについては、「管きょ更生工法における設計・施工管理ガイドライン－2017 年版－」の適用対象とされており、SPR-SE 工法用プロファイルがⅡ類認定適用資器材に登録されたことで、今後より活用が進むものと期待されます。



滋賀栗東工場での性能確認試験



SPR-SE 工法用プロファイル

<参考>

- ・ SPR 工法用プロファイル：Ⅱ類認定適用資器材として登録（平成 18 年）
- ・ オメガライナー工法用パイプ：Ⅰ類認定適用資器材（JSWAS K-19）に指定（令和 2 年）

令和4年度安全大会を開催

航空業界の安全対策を講演

当協会は10月26日に令和4年度安全大会を都内で開きました。コロナ禍の影響で3年ぶりの開催となりました。神山守会長は「発注者の信頼を確固たるものにするためには品質確保はもちろん安全な施工管理が前提となる。事故を絶対に起こさないという決意のもと、安全第一で工事に取り組んでいただきたい」とあいさつ。

来賓としてお招きした(一社)日本管路更生工法品質確保協会の友部秀久事務局長は「管更生は今後老朽管の増加とともに需要が高まる。安全管理を行い施工に携わってほしい」と呼びかけました。

安全表彰では、工事の安全対策に取り組んだ10社を表彰しました。表彰者を代表して(株)奥村組東京支店の梅沢雄一統括部長が「昨今の公共工事を取り巻く厳しい環境の中で安全確実な施工が求められている。今回の受賞を励みに更に向上させていきたい」と謝辞を述べられました。

また、安全発表では、北立建設工業(株)の村田興平次長が「SPR工法における安全対策」と題して発表を行いました。SPR工法におけるヒヤリハット事例のアンケートをもとに事故原因を分析。事故防



3年ぶりに安全大会を開催



村田次長

止の具体事例を提示し、同社における対応状況を紹介しました。

特別講演では、安全・品質コンサルタントの清水孝久氏が「航空業界における安全と事故防止」と題して、エラーやルール違反が発生することを前提に事故防止を考える「ヒューマンファクターズ」について解説しました(次頁に講演概要を掲載)。



神山会長



品確協・友部事務局長



(株)奥村組東京支店の梅沢統括部長が謝辞



各支部から10社を表彰

令和4年度安全大会表彰会社

北海道支部：(株)龍田工務店
東北支部：豊産管理(株)
東京支部：(株)奥村組東京支店
北関東支部：初雁興業(株)
南関東支部：(有)友希土木

北陸支部：(株)神高
東海支部：大日本土木(株)名古屋支店
関西支部：村上建設(株)
中・四国支部：アイエン工業(株)
九州支部：森永建設(株)

特別 講演

航空業界における安全と事故防止

安全・品質コンサルタント 清水孝久氏



清水氏

・事故発生メカニズム

1977年3月にテネリフェ島のロス・ロデオス空港でジャンボ機衝突事故が発生、583人が死亡する航空史上最悪の事故が発生しました。事故の要因は一つではなく、やむを得ず、思い込み、急いでいた、アドバイスを無視、勘違いといった人間ならではの特性である複数の要因がありました。この事故を契機にこういった人間特性を前提とした事故防止＝ヒューマンファクターズが提唱されるようになりました。ヒューマンファクターズの基本の考え方は、エラーをゼロにはできないが、エラーの影響をコントロールすることはできる（事故を防ぐことはできる）です。そして、複数のエラーがチェーンのように連なったときに事故は発生します。

・人間特性

人間の特性はエラーとバイオレーションの2つに分けられます。エラーはルールを認識していなかったこと、バイオレーションはルールを知っていて意図的に守らないことと、この2つは根本的に異なります。しかし、両方ともゼロにすることはできません。そこで、エラー

には理解を示し、バイオレーションには看過しないことが重要です。

・エラーマネジメント

エラーやバイオレーション

を少なくするにはマネジメントをする必要があります。エラーマネジメントにはエラーやルール違反が発生しない仕組みや、それらを検知する仕組みも必要ですが、自分や仲間が気付く、確認や確かめといった行動を取ることが重要です。チーム・組織で「なぜ事故を防止するのか」という意識を共有することで事故防止の強化につながります。

・まとめ

人は必ずエラーやルール違反をします。それがチェーンのように連なることで、事故が発生します。事故を発生させない仕組みづくりと自分・仲間の確認・確かめの両方を行うことで、このエラーチェーンを切ることができ、事故防止につながります。皆さまの現場でも実践して頂けると幸いです。

北関東支部設立 20 周年、 管更生技術施工展 2022 長崎

北関東支部 設立 20 周年

北関東支部は 11 月 1 日に群馬県内で北関東支部設立 20 周年記念式典を開催しました。新型コロナウイルスの影響で 20 周年から 2 年遅れの開催となりました。冒頭、徳山良一支部長は「新潟県と埼玉県での工法研究会の立ち上げが原点だったが、今では茨城・栃木・群馬・山梨・長野も加えた 7 県を管轄し支部会員も 134 社と大きな組織となった」と感慨深く語りました。



徳山支部長



品確協・小川会長



記念式典全景

◎下水道管更生技術施工展 2022 長崎に出展

「下水道管更生技術施工展 2022 長崎（主催：（公社）日本下水道管路管理業協会）」が 10 月 20 日に大村市内で開催されました。

42 社・団体らが管更生・修繕・防食・耐震化・調査診断・洗浄・安全管理等に関わる多彩な製品技術をデモンストレーションを交えて披露し、地方公共団体、メーカー、コンサルタント等約

1,500 名が来場しました。

当協会では SPR ブラック号による自走式 SPR 工法の製管デモ施工とインディブルー号によるオメガライナー工法の拡径デモ施工、SPR-SE 工法の紹介を行いました。当日は学生達も来訪し、熱心に見学して頂きました。



SPR ブラック号による製管デモ施工



SPR-SE 工法を紹介

各支部でデモ施工を開催

各支部では下記の表のとおり、デモ施工を開催しました。
(番号を振っている催事は表の下に写真を掲載しています)

支 部	開 催 日	催 事 名	場 所	写真
北 海 道	9月6日	出前講座	函館工業高校	①
	〃	函館市職員等対象デモ施工	函館環境衛生(株)	
	9月7日	室蘭市等職員対象デモ施工	室蘭市役所	
東 北	9月13日	デモ施工キャラバン2022in東北 北東北	能代市・秋田県能代地区土地改良区	
	9月14日	〃	青森市・浪岡中央公民館	②
	9月15日	〃	矢巾町・盛岡地区勤労者共同福祉センター	
	10月12日	デモ施工キャラバン2022in東北 南東北	会津若松市内	
	10月13日	〃	山形市・協同の杜JA研修センター	
北 関 東	10月24日	管きょ更生デモ施工見学会	甲府市上下水道局	
	10月25日	〃	川口市内	
	10月26日	〃	新潟県流域下水道事務所	③
東 京	9月21日	TGS 第29回 下水道技術研修講座 (再構築の設計)	東京都下水道局・下水道技術実習センター (砂町水再生センター)	
	9月22日	令和4年度 管渠更生工法研修会	〃	④
南 関 東	9月26日	横浜市 SPR 工法協会説明会	横浜市環境創造局南部下水道事務所	⑤
北 陸	10月5日	管更生地上デモ施工見学会	高岡テクノドーム	⑥
中・四国	7月25日	松山市管更生デモ施工説明会	松山市中央浄化センター	
	7月26日	香川県管更生デモ施工説明会	瀬戸大橋記念公園	
	8月23日	山口大学管更生デモ説明会	山口大学施設内	
	8月24日	倉敷市管更生デモ施工説明会	倉敷市玉島下水処理場	
	8月25日	三原市管更生合同デモ施工	三原市新倉ポンプ場	



◎関西支部：建設技術展 2022 近畿に出展

関西支部は11月9、10日にインテックス大阪で開催された「建設技術展 2022 近畿」に出展しました。SPR 工法、オメガライナー工法、SPR-SE 工法のポスター展示と更生材の展示を行い、老朽化するインフラの維持管理に対応する情報発信を行いました。



老朽化対策に向けて情報を発信

◎管路更生大学で学生に PR

日本大学生産工学部土木工学科では、平成 29 年度から東京都下水道サービスと（一社）日本管路更生工法品質確保協会と協力協定を締結し、下水道管路メンテナンスの講義（管路更生大学）を開催しています。

令和 4 年度は10月18日から5回の講義を行い、最終講義である11月4日には同大学津田沼キャンパスにて、デモ施工を開催しました。当日は同学

科のマネジメントコースおよび都市環境コースの学生とともに、地方公共団体職員の方にも見学して頂きました。

デモ施工では当協会も参加し、自走式 SPR 工法の製管デモ施工とオメガライナー工法の拡径デモ施工を行いました。また会員企業に就職した日本大学の卒業生が各工法の説明を行いました。



製管デモ施工を熱心に見学



日本大学の卒業生が工法説明

お知らせ

第 34 期定時総会のご案内

来る令和 5 年 4 月 27 日に第 34 期定時総会を開催します。総会後には懇親会を行う予定（新型コロナウイルスの感染状況により変更）ですので、会員の皆様におかれましては、ご多忙中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

日時：令和 5 年 4 月 27 日（木）

場所：明治記念館 〒107-8507 東京都港区元赤坂 2 丁目 2-23 TEL:03-3403-1171

※ GW 前日の開催となりますので、交通手段の手配は早めをお願いいたします。